

第3回府中市議会定例会議事日程表

令和2年6月11日分
議事日程第2号 時 分開議

日程第1 一般質問

一般質問日程

令和2年6月11日分

会派代表質問（各派代表質問は、議会運営委員会で決定した順による。）

1 本谷宏行君（創生会代表）【一問一答】

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

ア 当初予算関連に係る事業の洗い出しと精査

イ 高齢者や生活困窮者への支援情報の伝達と対応

ウ 生活保護申請の現状と対応

(2) 経済の回復について

ア 市内消費の拡大と推進

イ 第5次府中市総合計画 基本目標の実現

2 福田勉君（創生会代表）【一問一答】

(1) 災害発生時の新型コロナウイルス対策について

ア 避難所、避難場所

イ 移送先、受け入れ施設の確認

ウ 保健師、看護師

エ 備蓄

(2) 防災対策について

ア 避難者への情報提供

イ 樹木伐採、土砂堆積撤去

3 森川 稔君 (創生会代表) 【一問一答】

(1) 危機管理について

ア 危機管理体制

イ 内水排水対策

ウ 外水氾濫予防対策

4 丸山 茂美君 (創生会代表) 【一問一答】

(1) ため池について

ア 災害復旧状況

イ 管理及び保全に関する法律

ウ 防災重点ため池

エ 特定農業用ため池

オ 危機管理への対応

(2) 土砂災害警戒区域について

ア 市のお考えと対策

イ ハザードマップ・避難

ウ 災害廃棄物処理

エ 地域自主防災組織

5 加納孝彦君（創生会代表） 【一問一答】

(1) コロナとの共存（園児、児童、生徒）について

ア 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策

イ 教育の遅れを取り戻すための対応

ウ G I G Aスクール

- (2) 第5次府中市総合計画について
ア 策定と実行

6 田 邊 稔 君 (創生会代表) 【一問一答】

- (1) 観光ビジョンと恋しきの活用について
ア 観光ビジョン

イ 府中市観光協会

ウ 観光を推進する地域づくり

エ 「恋しき」の活用

- (2) 猿による被害について
ア 猿による被害の実態

イ 猿の生息の状況

ウ 本格的な捕獲駆除対策

第3回府中市議会定例会議事日程表

令和2年6月12日分
議事日程第3号 時 分開議

日程第1 一般質問

一般質問日程

令和2年6月12日分

会派代表質問（各派代表質問は、議会運営委員会で決定した順による。）

7 檜崎 征途 君（日本共産党代表） 【一問一答】

(1) 国民健康保険税の減免について

ア 高すぎる国保税

イ 均等割の減免

ウ 子育て支援策としての減免

8 岡田 隆行 君（日本共産党代表） 【一問一答】

(1) 学校再開に伴う今後の府中市の対応について

ア 学校再開にあたり、すべての児童生徒のいのちと健康・安全の確保

イ 授業を再開していく上で重視すること

ウ 第2波でのコロナ休校に伴う対応

- (2) 市民病院機能の維持、確保の重要性について
ア 市民病院などへのPCRセンターの設置

イ 市民病院の機能維持確保の重要性

ウ 今後の災害に対する医療環境の充実

- (3) 災害や感染症に対する府中市での支援対策のさらなる充実について
ア 災害や感染症への支援対策

イ 予算編成見直しの必要性

ウ スピード感のある支援対策を

9 加島広宣君（公明党代表） 【一問一答】

- (1) コロナウイルスの影響について
ア 市内企業・商店への影響は

イ 本年度事業計画

ウ 市内学生への影響

10 大本千香子君（公明党代表） 【一問一答】

(1) コロナウイルス感染症第2波への対策について

ア 緊急事態宣言解除まで

イ 秋冬に懸念される第2波への対策

(2) 放課後児童クラブについて

ア 長期休暇中の給食

11 水田 豊君（市民クラブ代表） 【一問一答】

(1) 障がい者の65歳問題について

ア 岡山市での浅田裁判が訴えたもの

イ 65歳以上の障がい者の負担軽減策

ウ 後期高齢者保険との関係

(2) 市職員の働き方改革について

ア 全職員数と年代別割合

イ 新規採用職員の動向

ウ 職員が働きやすい環境づくり

- (3) 地方独立行政法人府中市病院機構について
ア 再編・統合問題の現在

イ 地域医療連携法人

1 2 芝内 則明 君 (市民クラブ代表) 【一問一答】

- (1) 小・中・義務教育学校のプールについて
ア 各学園に拠点プールを整備

- (2) 児童・生徒の生活実態把握について
ア 児童・生徒の生活から見える行政課題

- (3) 新型コロナウイルス感染症対策に関わる町内会との連携について
ア 行政と町内会の連携

1 3 土井 基司 君 (市民クラブ代表) 【一問一答】

- (1) 新型コロナ対策について
ア 財源確保のための事業見直し

- (2) 電気保安体制について
ア 電気保安人材の不足